NPO K's Point 2011年度/2011年6月1日~2012年5月31日

第1回 運営会議(総会)

開催日:2011年11月26日 午後12時45分~1時15分

議長:森本 武 (NPO K's Point 代表、京都嵯峨芸術大学教授)

書記:伊藤 あゆみ (NPO K's Point スタッフ)

『NPO K's Point mission (目的)』(P. 1)

【審議事項】

- 1. 『2011 年度 NPO K's Point 理事·役員人事』(P. 2)
- 2.『NPO K's Point 組織図』(P. 3)

【報告事項】

- 1. 『2011 年度前期 活動報告』 (P. 4)
- 2. 『2012 年度 事業計画』(P. 5)

NPO K's Point

mission

目的

J. クリシュナムルティの思想研究をとおして、思考に依存しない生き方の可能性をさぐり、人間のいだく不安の軽減、解消の実現をはかる。 より具体的には、「今」という絶対的現在を曇りなく生きる知性の存在を検証し、その成果を種々の活動、媒体をとおして広報する。

- 1. 本会は、一定の目的をもった慈善事業を営む資源 を確保するため、営利事業にも節度をもって取り 組む。
- 2. 目的の実現と手段は直結しているので、手段としての営利事業の取り組みにおいても、常に目的の 範囲を逸脱しないよう細心の注意を払う。
- 3. 組織的成熟にむけて短中期的に構想するが、長期 の見通しはもたない。

2011.6.30

く理事・役員候補者>

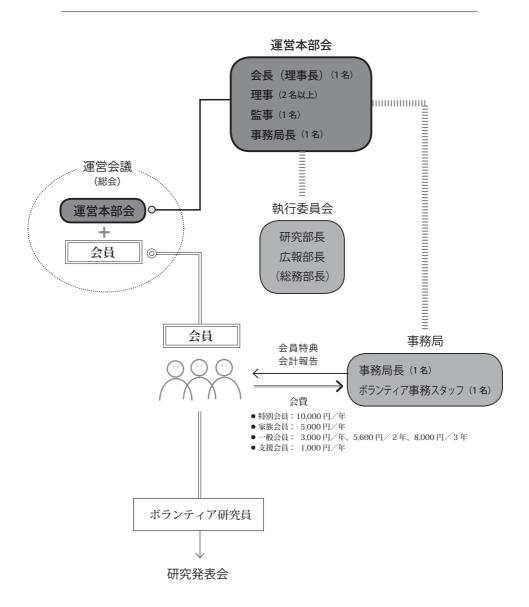
会 長 森本 武 NPO K's Point 代表、京都嵯峨芸術大学教授(京都) (理事長)

理 事 梶 由美 美容院経営(京都)

理 事 川内 翔保子 マクロビオティック料理講師、マニホージュ主宰(神奈川)

監 事 折原 一雄 折原税理士事務所 所長 (東京)

事務局長 伊藤 あゆみ NPO K's Point スタッフ (大阪)



※ボランティア研究員とボランティア事務スタッフは、 会員か否かは問わない。

NPO K's Point 活動報告

6月1日 会員制発足

6月18日 Kの生活塾「①生きる時間」(京都嵯峨芸術大学)

一生という不可視の枠の内で「私」は闘う。 あるいは、愛する。あるいは、嘆く。あるいは、さまよう。 時間は「私」の味方なのか。

- **7月1日** 「思考にご注意!」(『月刊マクロビオティック』7月号、日本 CI 協会)を寄稿
- **7月1日** NPO K's Point 会報「insight」第01号発行
- 7月17日 講演会「生命エネルギーに出会う」(総合生涯学習センター/大阪梅田)

あなたを生かしている生命力。それは「考え」でも「イメージ」でもない実在している力である。 この力が心臓を、脳を、動かしているのはあきらかですが、その力を、単独に取り出して、認め、 それを意識的に操作することは可能なのだろうか。

7月23日 K の生活塾「②娯楽」(京都嵯峨芸術大学)

苦楽の日々を生きるわれわれにとって、「楽」はありがたい時間。 息抜き、リフレッシュメント、快楽をとおして自分を立て直そうとするわけだ。 少しでも楽をひろげて、苦を押しやりたいのが人間。人生における娯楽の意義を問う。

8月21日 K語・観察会「第8回気づき—awareness」(神戸市勤労会館)

知ることによっても、経験する事によっても、解消しない問題が、一瞬の気づきによって、解決される場合がある。こうした気づきの働きは、どこからやってくるのか。また、どのようにもたらされるのだろうか。「『気づき』に気づく意識はない」とクリシュナムルティはいう。「気づき」に彼は何を見いだしたのか。

9月10日 K の生活塾「③道徳と社会正義」(京都嵯峨芸術大学)

あるべき人間、やるべき行い、守るべき規範などの「正しさ」を、ひとは教え込まれて、社会の秩序の維持に努力してきた。このとき、われわれは、一体何に従っているというのだろうか。真に、この社会に根付いてきたものは何なのだろうか。個のわがままを許さず、集団への従属が賞賛される「正しさ」を検証したい。

- 10月1日 「MACHI DECO international」(京都国際マンガミュージアム) クリシュナムルティの翻訳フレーズを江村耕市+ emuralabo 制作の映像作品へ提供
- **10月27日** 「岡崎あかりとアートのプロムナード」(細見美術館 中庭) **~30日** クリシュナムルティの翻訳フレーズを江村耕市 + emuralabo 制作の映像作品へ提供
- **10月30日 探求の会「運命と自由意志」**(ラルジャンド ポシュ/奈良・三輪)
- 11月26日 K の生活塾「④美」(京都嵯峨芸術大学)

美。その質に触れ、生は歓喜する。それを求め、生は努力する。 それに照らされて、生は開花する。それに押し倒されて、生は畏怖する。

※ K の生活塾・探求の会は、会員限定です。

NPO K's Point 事業計画

くイベント事業>

- 1. K の生活塾 6回(1月·8月を除く)
- 2. 講演会 2回
- 3. K語・観察会 2回
- 4. 探求の会 2回
- 5. Tea Party 未定

<出版事業>

- 1. NPO K's Point 会報『insight』第 03 号発行
- 2. NPO K's Point 会報『insight』第 04 号発行
- 3. 書籍『思考は生を知らない (仮題)』出版

くその他>

1. 相談会